

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和07年06月20日(金)

事務事業		ごみ減量・資源リサイクル事業		担当課	環境衛生課	担当係	業務係	管理番号	40221
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
	中項目	3	人と自然にやさしいまちづくり		根拠法令 個別計画等	深谷市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画			
	小項目	2	環境衛生の推進						
	主要プロジェクト								
事業概要		ごみの減量化とリサイクル活動の推進を行う							
目的 ※何のために		資源物の再利用の促進、廃棄物の減量化を図る							
対象 ※誰・何を対象に		日常生活から排出される資源ごみを集団回収する登録団体							
手段 ※どのように		奨励金の交付							
成果 ※何を求めるか		自主的な資源回収活動の定着促進とこれに伴う家庭から排出されるごみの縮減							
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input checked="" type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）							
事務事業を 構成する 予算事業	区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
	一般会計	4	衛生費	2	清掃費	1	清掃総務費	ごみ減量・資源リサイクル事業	4,996,822
本事業の 主な業務	・ リサイクル活動推進奨励金交付							・	
	・							・	
	・							・	
	・							・	
	・							・	
	・							・	

2. 事業費（投入コスト）

※令和6年度は決算見込み額です。

単位：円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画							
事業費	予算（現額）	9,104,000	9,204,000	9,198,000	9,198,000		
	決算額	5,490,069	5,213,788	4,996,822	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	0	0	0		
	一般財源	5,490,069	5,213,788	4,996,822	9,198,000		
人件費	従事職員数（人）	0.50	0.50	0.50	1.05		
	人件費相当試算※	3,934,779	4,005,083	4,111,121	8,954,211		
総事業費試算		9,424,848	9,218,871	9,107,943	18,152,211		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

### 3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	リサイクル奨励金交付申請数	目標値	件	390.00	395.00	400.00	405.00	410.00	415.00	
		実績値		297.00	295.00	303.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			平成29年度を基に毎年5件増える目標とした。 / 決算における交付申請数						
	実績値の算出式									
成果指標 1	リサイクル奨励金交付額	目標値	千円	12,000.00	12,000.00	12,000.00	12,000.00	12,000.00	12,000.00	
		実績値		5,490.07	5,213.79	4,996.82				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			平成30年度予算における見込金額を目標とした。 / 決算における奨励金の交付額						
	実績値の算出式									
成果指標 2	廃棄物のリサイクル率	目標値	%	17.30	17.40	17.50				
		実績値		14.86	14.18	13.86				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			一般廃棄物処理基本計画に伸率を算出し有害・有価物、集団回収合計に乘じ目標とした。 / リサイクル率＝可燃以外／可燃						
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

### 4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。  
 (評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

#### (1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	C	交付申請数に増加がみられるものの、ライフスタイルの変化に伴う登録団体の活動の縮小が見受けられる。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	C	交付申請数は微増しているものの、資源物回収量が停滞している。
			評価者 課長補佐兼業務係長 小舟 淳一

#### (2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率性に事務事業を執行しているかを評価します。  
 (評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	C	リサイクル活動推進奨励金交付手続きにおいて、オンライン申請フォームを導入し利便性が向上しているが、リサイクル活動を活性化させるためにも制度の更なる周知啓発が必要である。
			評価者 課長補佐兼業務係長 小舟 淳一